

2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月15日
株式会社 きもと

2008年3月期 【 中間決算概要 】

代表取締役社長 丸山 良克

2008年3月期 上期 トピックス

1. 上海に子会社「稀本商貿(上海)有限公司」を8月設立

中国市場の拡大に合わせ、液晶関連部材を中心とした重点事業である電子・工業材料事業のさらなる業績拡大を目指すとともに、多岐にわたる機能性フィルム製品の拡販拠点を目指し設立

2. 子会社「KIMOTO POLAND Sp. z o. o.」工場建設

7月着工 12月完成予定

3. 30万株の自己株式を取得（7月9日～9月14日）

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上に資するため

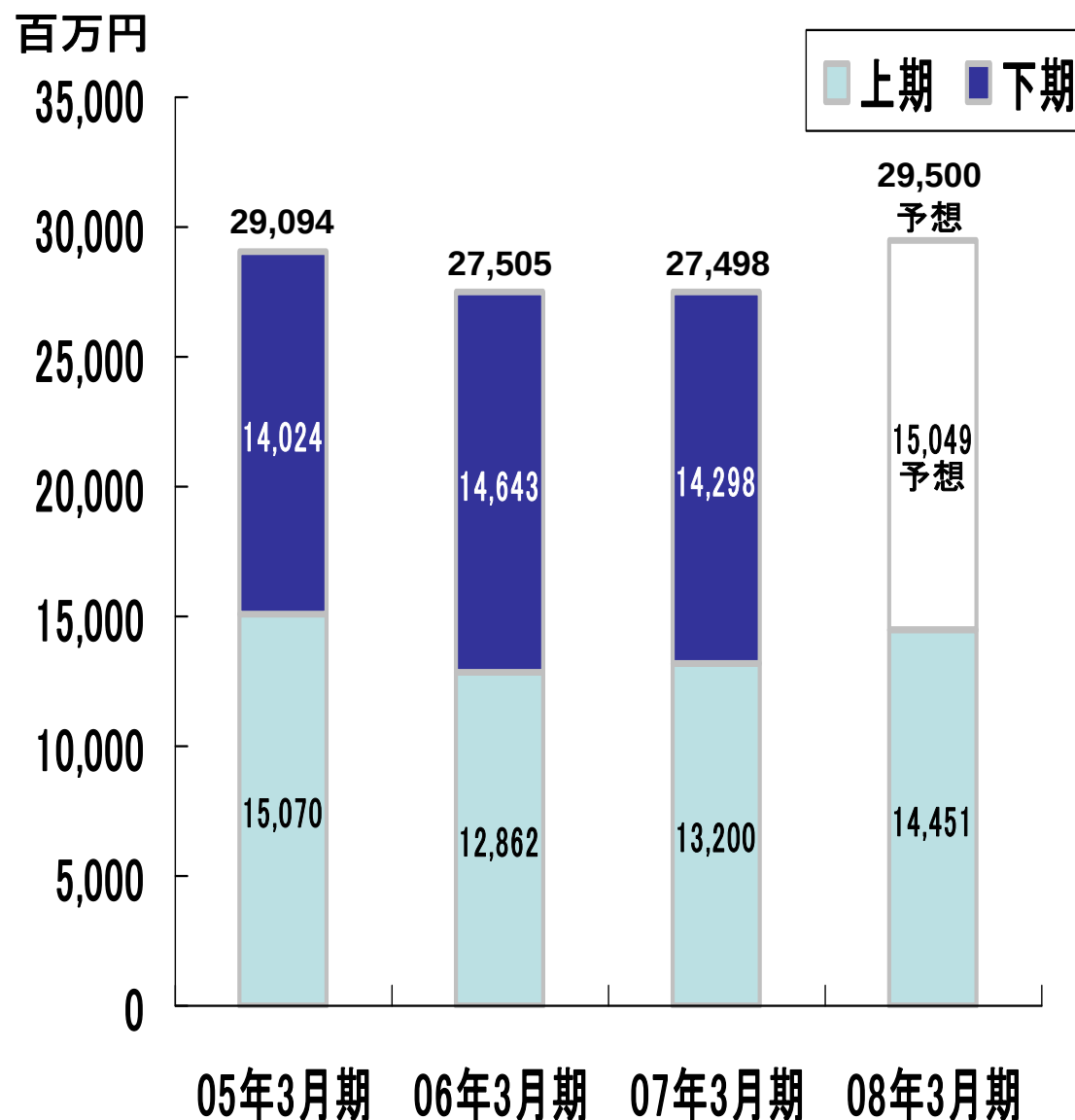
連結 業績サマリー

(単位: 百万円)

	当期 07年4月～9月	前期 06年4月～9月	増減	
売上高	14,451	13,200	1,251	9.5%
営業利益	1,439	1,138	301	26.4%
経常利益	1,509	1,202	307	25.6%
当期純利益	916	796	120	15.1%

- デジタル家電向け光学フィルムが大幅に伸長
- ハードコートフィルムの出荷量が大幅に増加
- 情報システム事業部門の損失の発生を圧縮

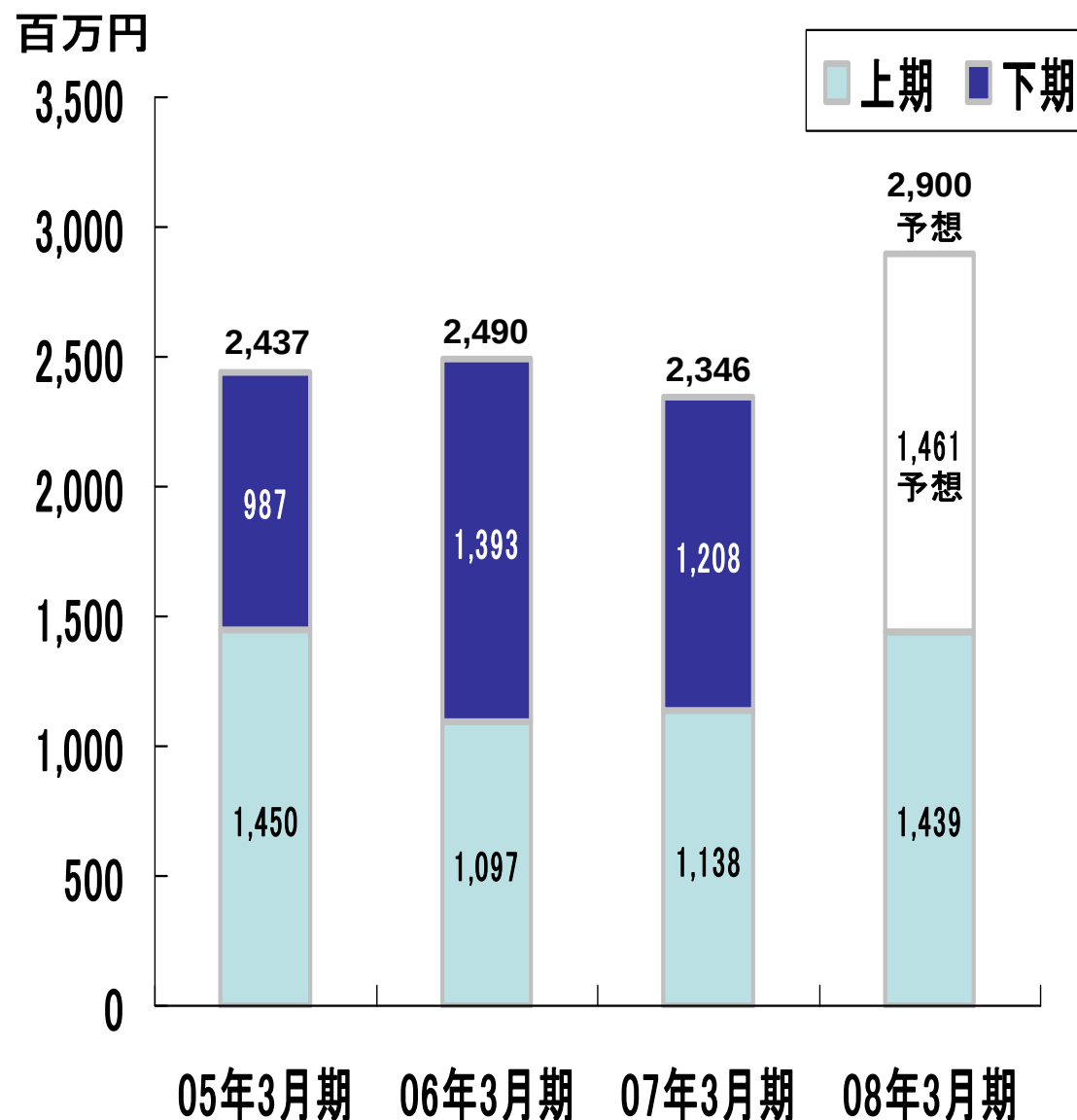
連結 売上高推移



業績比較

- 当期上期
14,451百万円
- 前年同期比
1,251百万円増(9.5%)
- 通期予想
29,500百万円
- 前年同期比
2,002百万円増(7.3%)

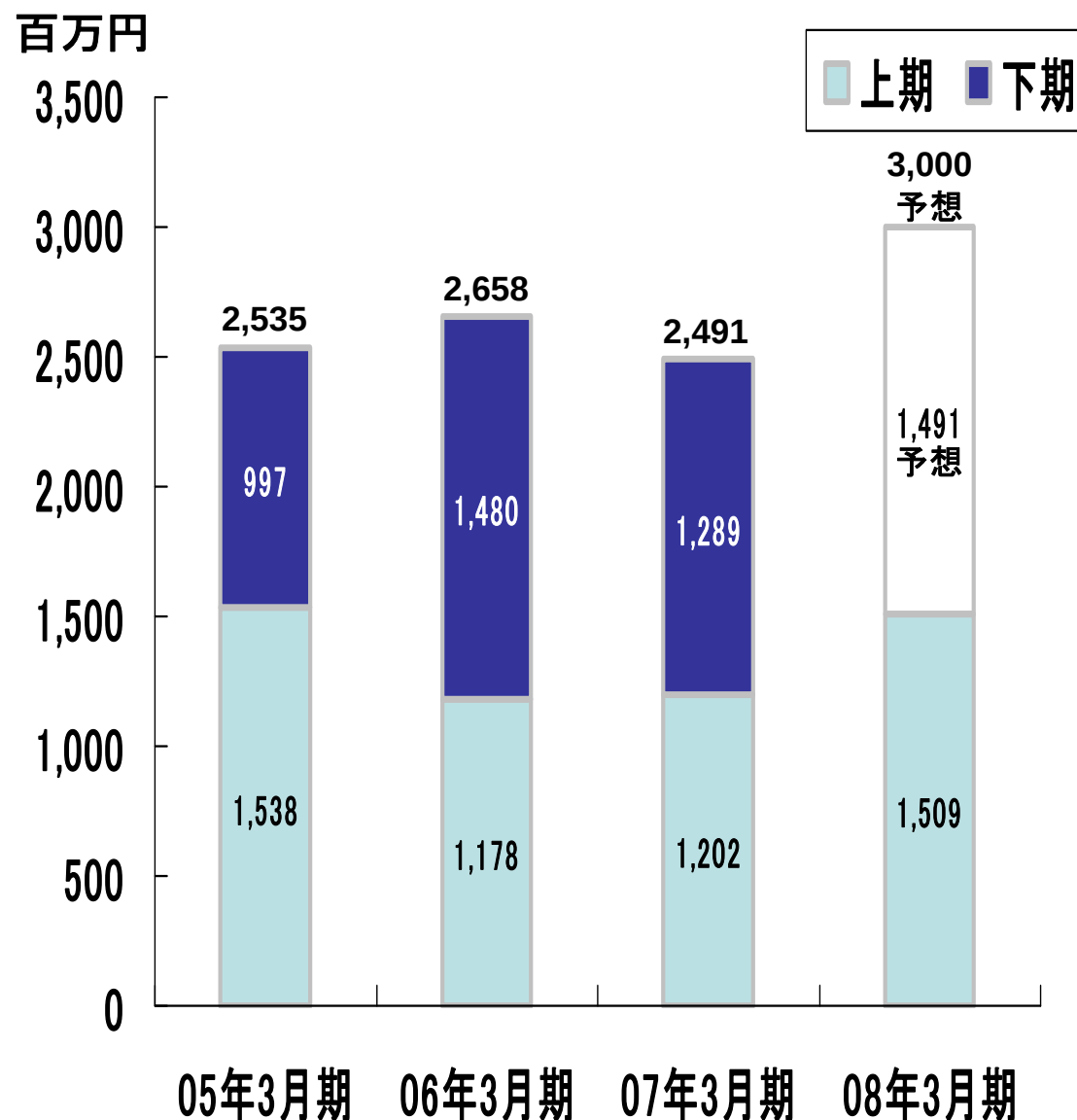
連結 営業利益推移



業績比較

- 当期上期
1,439百万円
- 前年同期比
301百万円増 (26.4%)
- 通期予想
2,900百万円
- 前年同期比
554百万円増 (23.6%)

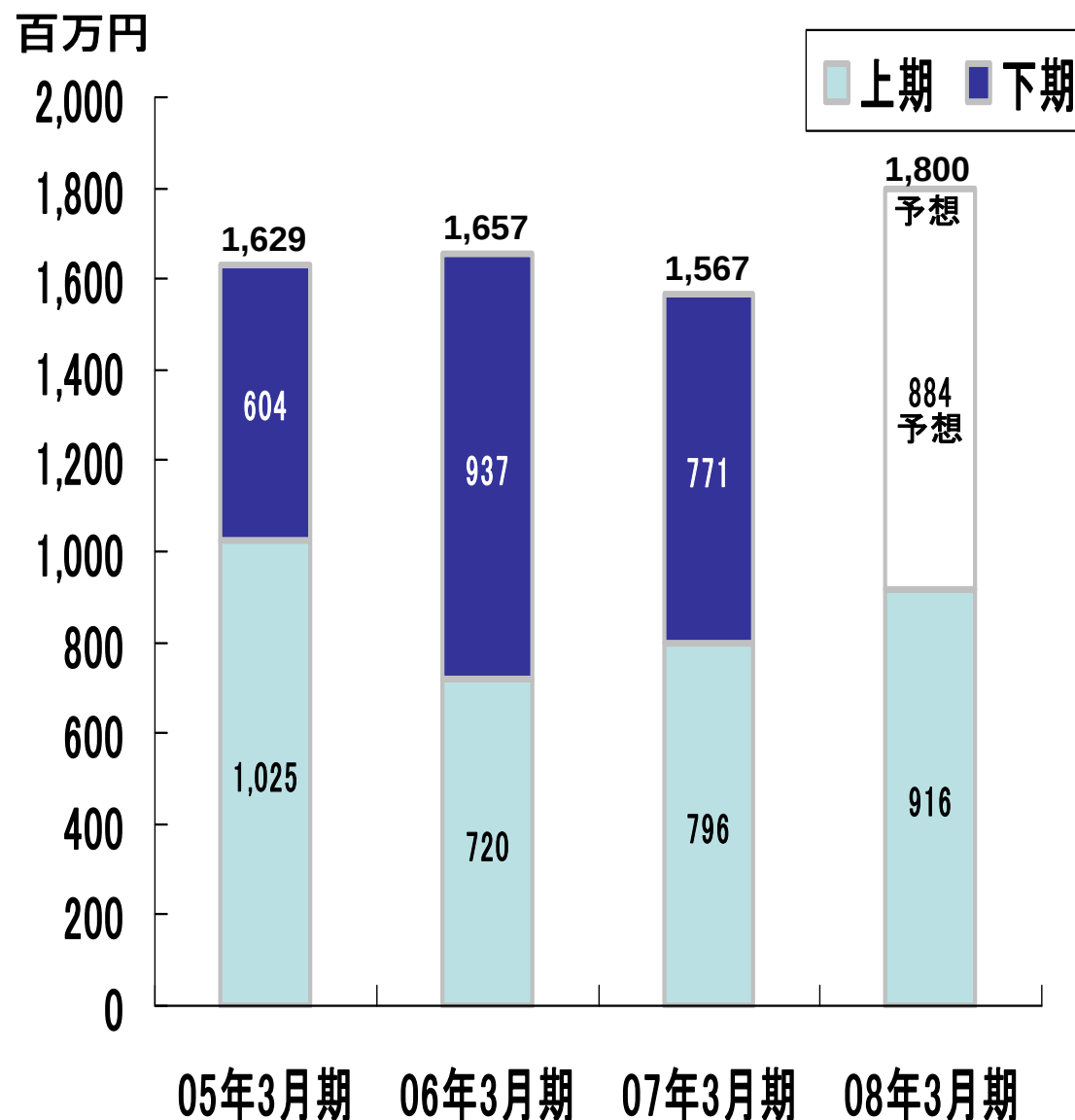
連結 経常利益推移



業績比較

- 当期上期
1,509百万円
- 前年同期比
307百万円増(25.6%)
- 通期予想
3,000百万円
- 前年同期比
509百万円増(20.4%)

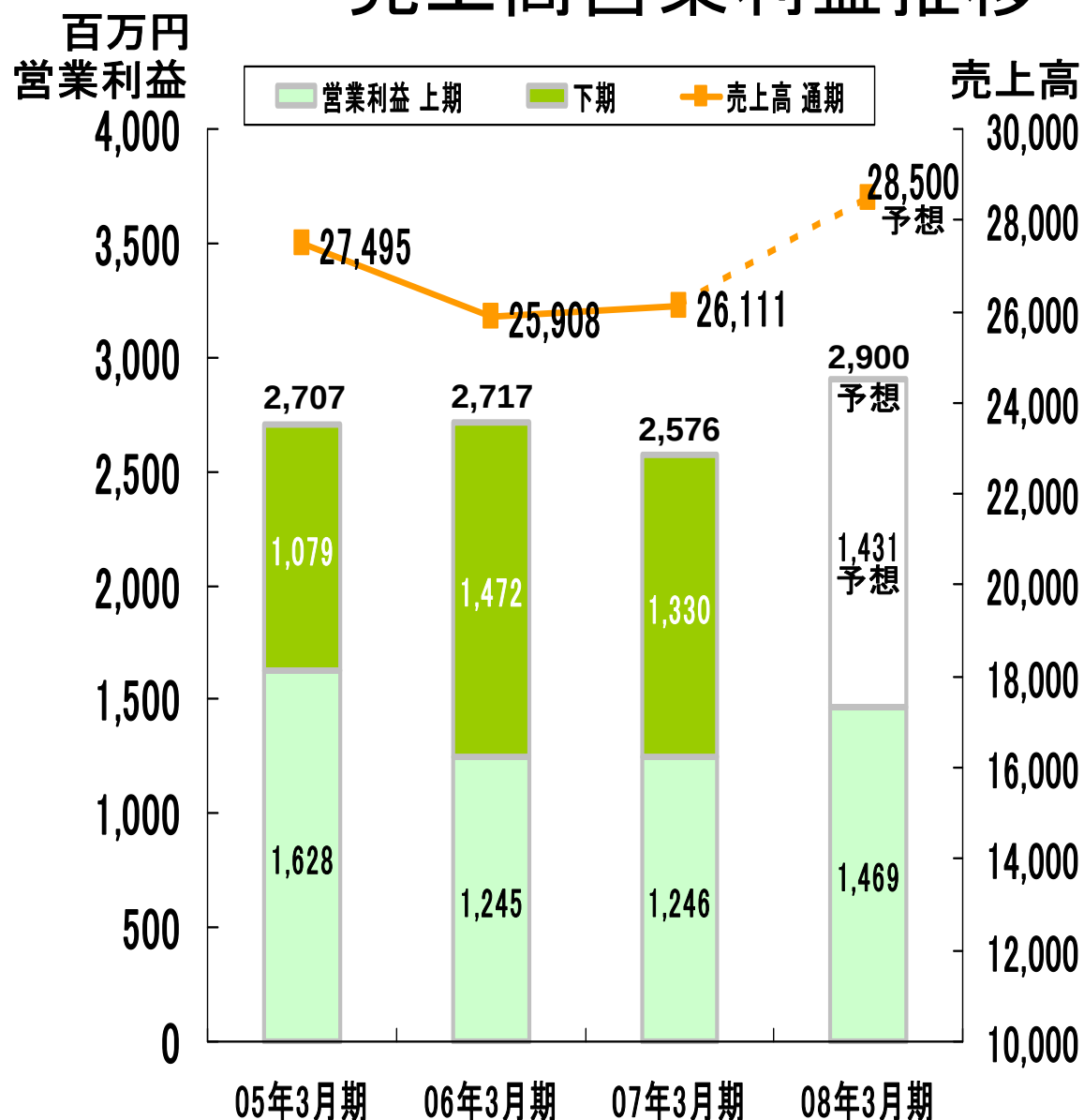
連結 当期純利益推移



業績比較

- 当期上期
916百万円
- 前年同期比
120百万円増(15.1%)
- 通期予想
1,800百万円
- 前年同期比
233百万円増(14.8%)

連結 機能性フィルム事業部門 売上高営業利益推移



業績比較

● 当期上期営業利益

1,469百万円

● 前年同期比

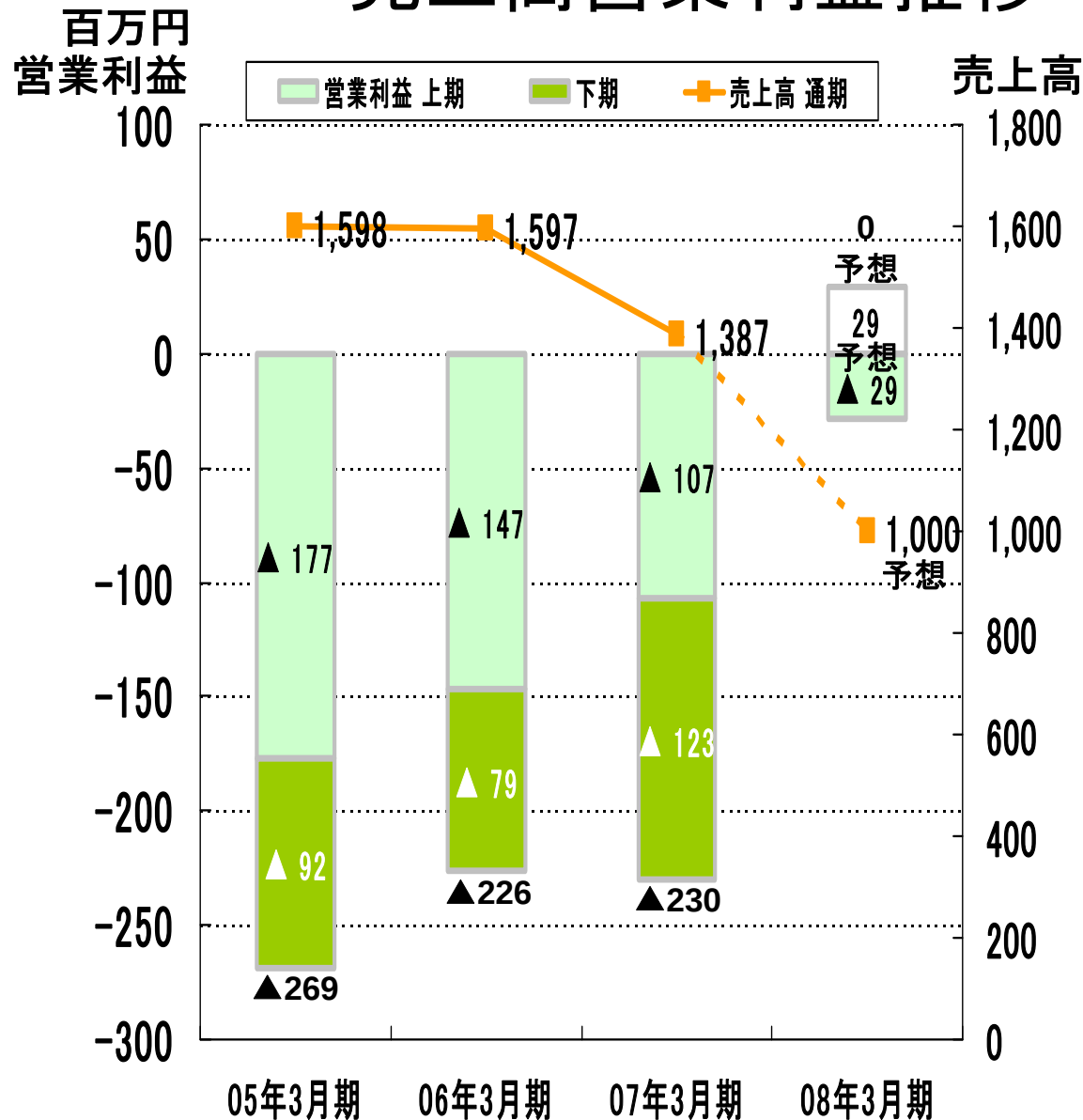
223百万円増(17.9%)

● デジタル家電向け光学フィルム、タッチパネル用ハードコートフィルムが大幅に増加

● カラーマネジメントシステムおよび測色機器類の売上が減少。大型インクジェットプリンターの売上は伸長

● 環境エコロジー分野の多機能フィルムを上市するも売上寄与には至らず。出力フィルムの売上は大幅に減少

連結 情報システム事業部門 売上高営業利益推移



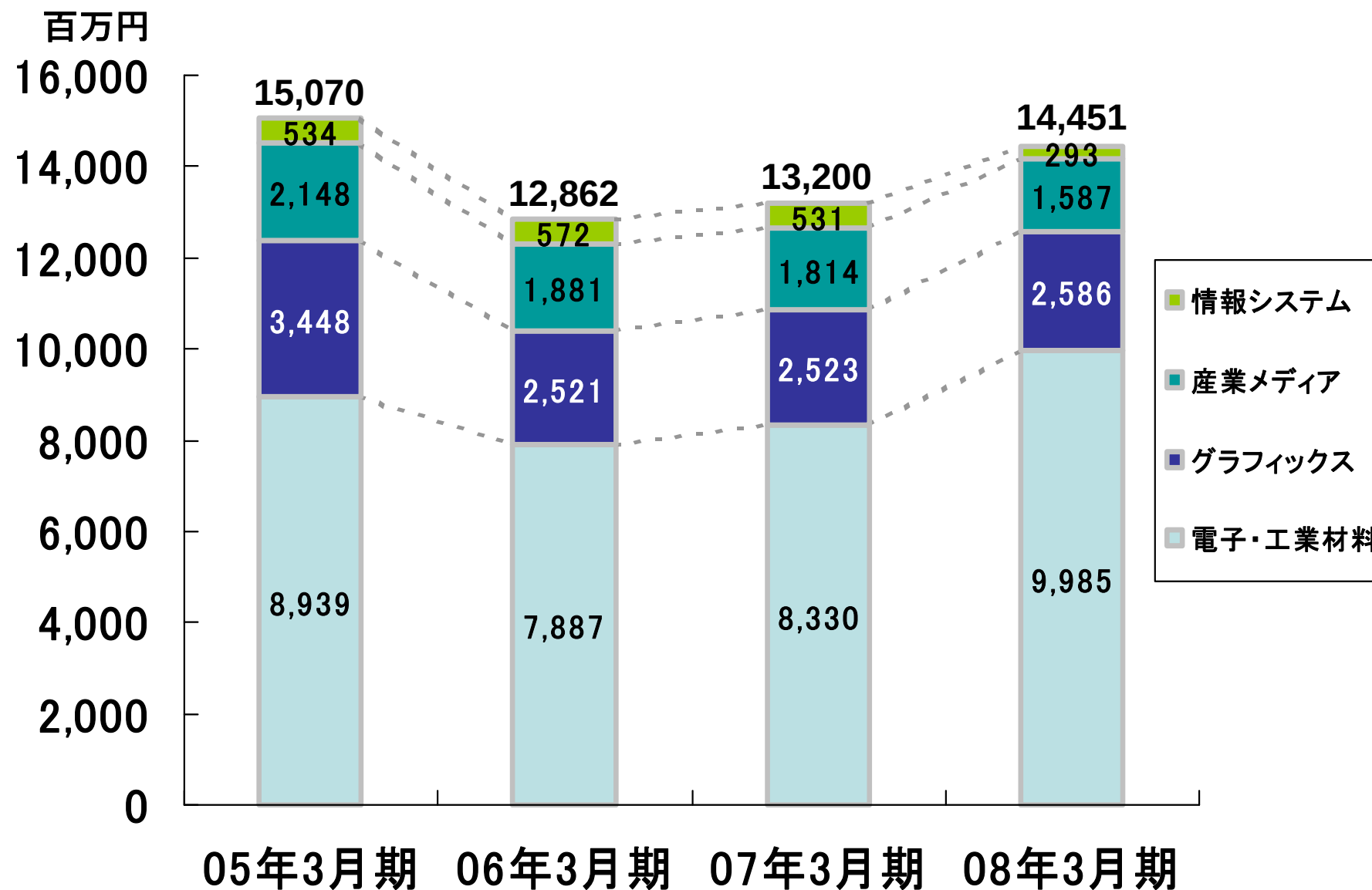
業績比較

● 当期上期営業損失
29百万円

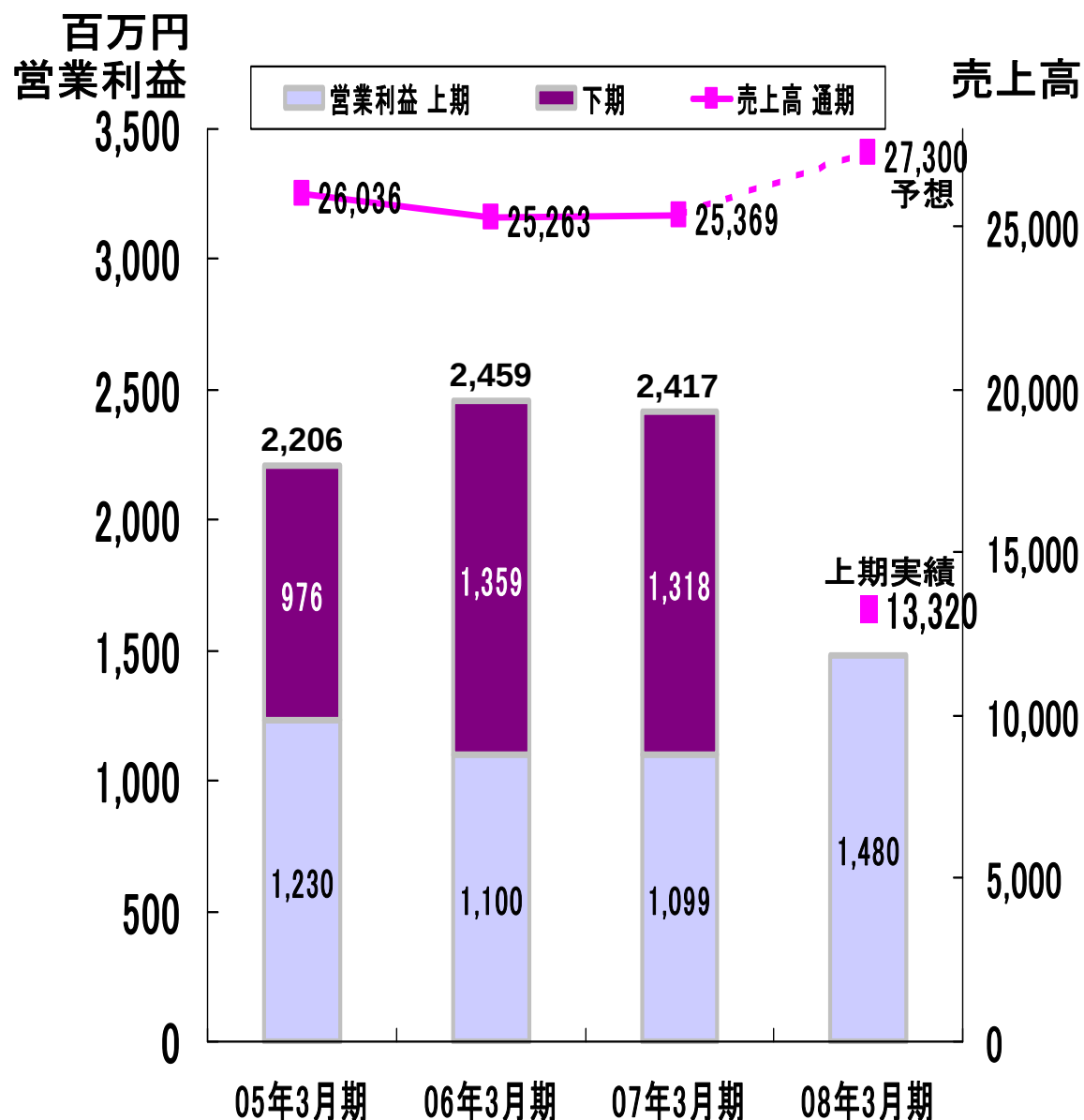
● 前年同期比
78百万円減

● 得意分野への経営資源の集中と事業のスリム化に取り組み、売上は大幅に減少したものの収益構造の改善が進み損失の発生を圧縮

連結 事業別 上期売上高推移



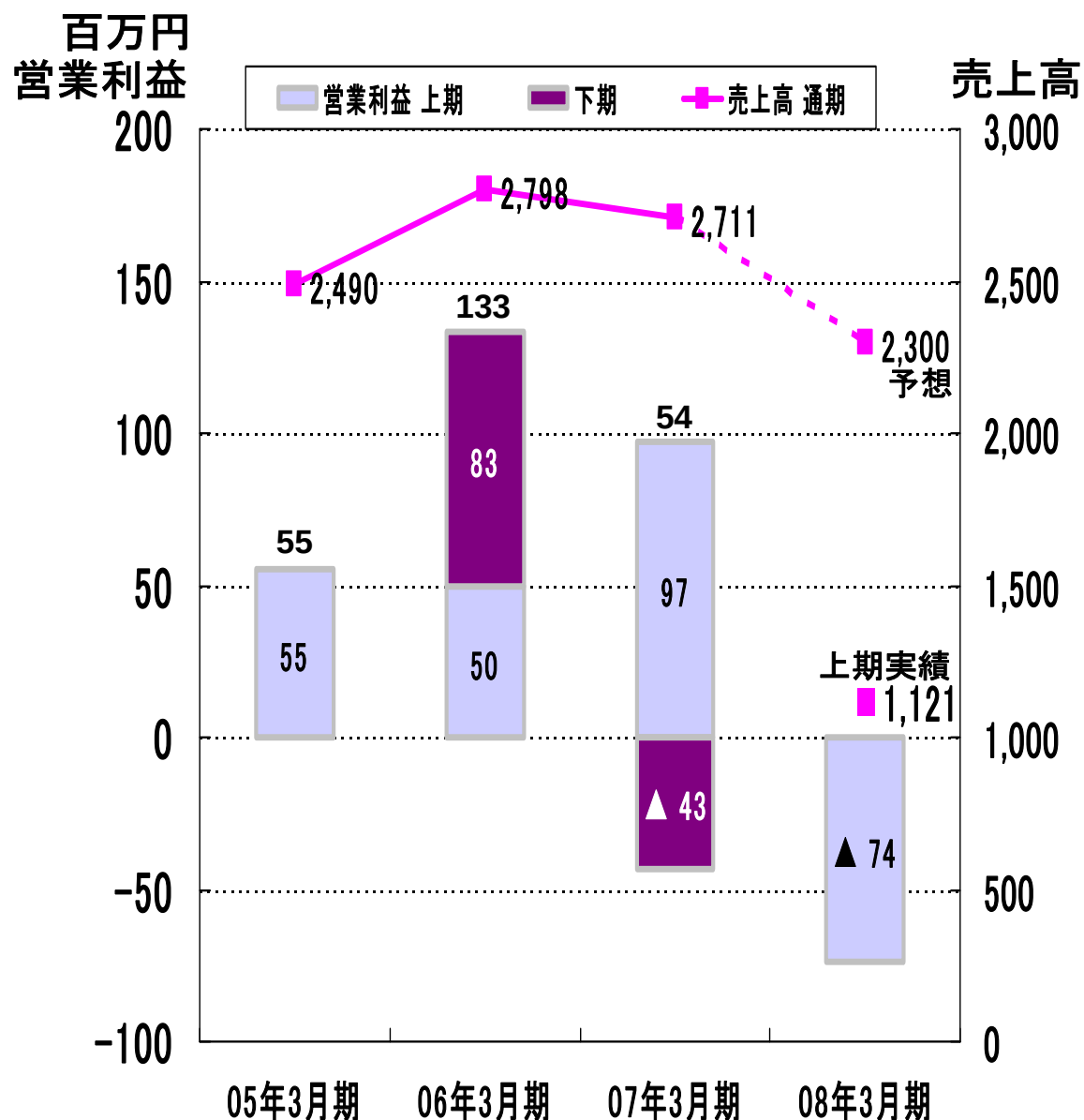
連結 所在地別(日本) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期上期営業利益
1,480百万円
- 前年同期比
381百万円増(34.7%)
- 当期上期売上高
13,320百万円
- 前年同期比
1,223百万円増(10.1%)

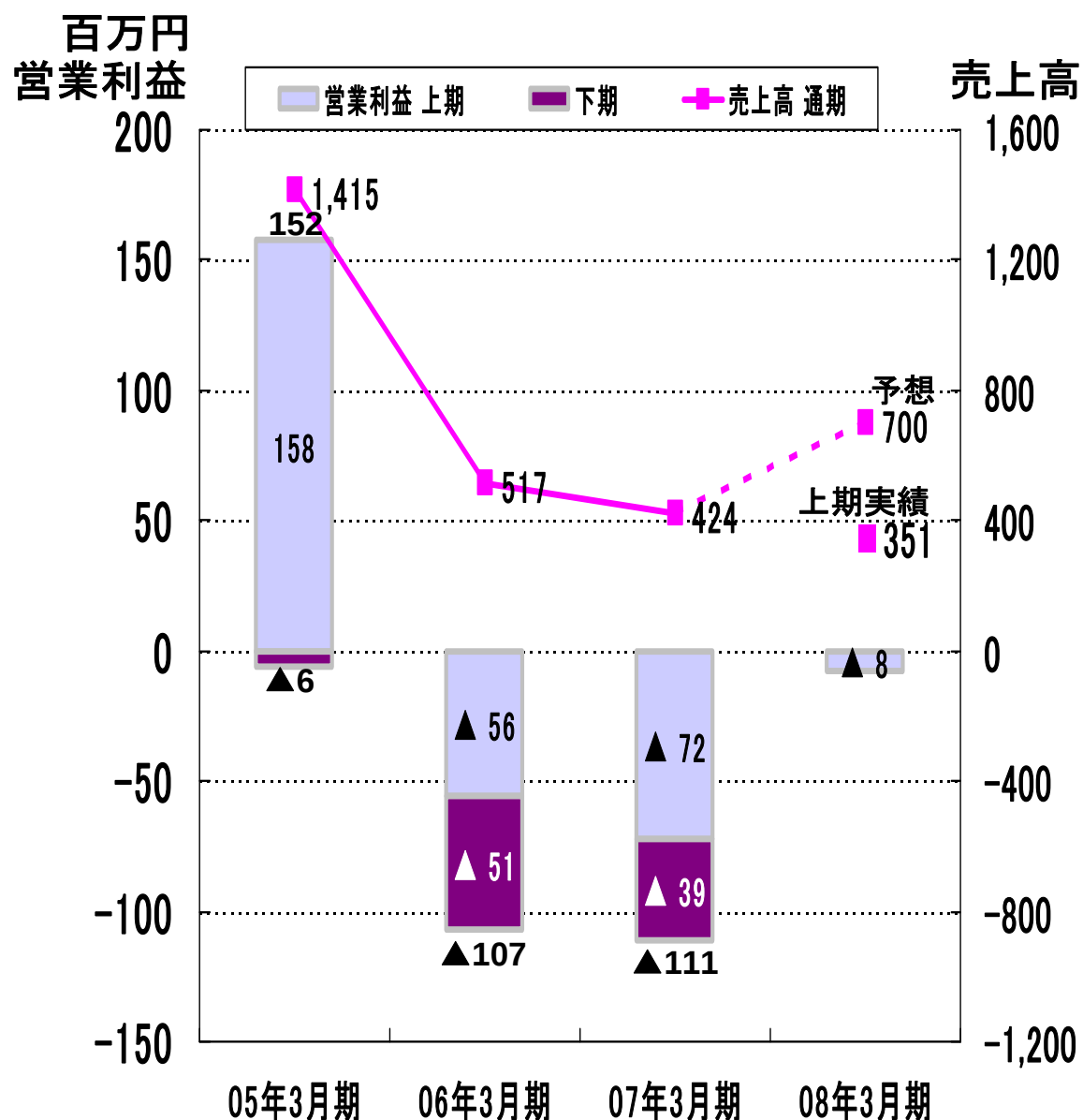
連結 所在地別(北米) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期上期営業利益
▲ 74百万円
- 前年同期比
172百万円減
- 当期上期売上高
1,121百万円
- 前年同期比
358百万円減

連結 所在地別(欧州) 売上高営業利益推移



業績比較

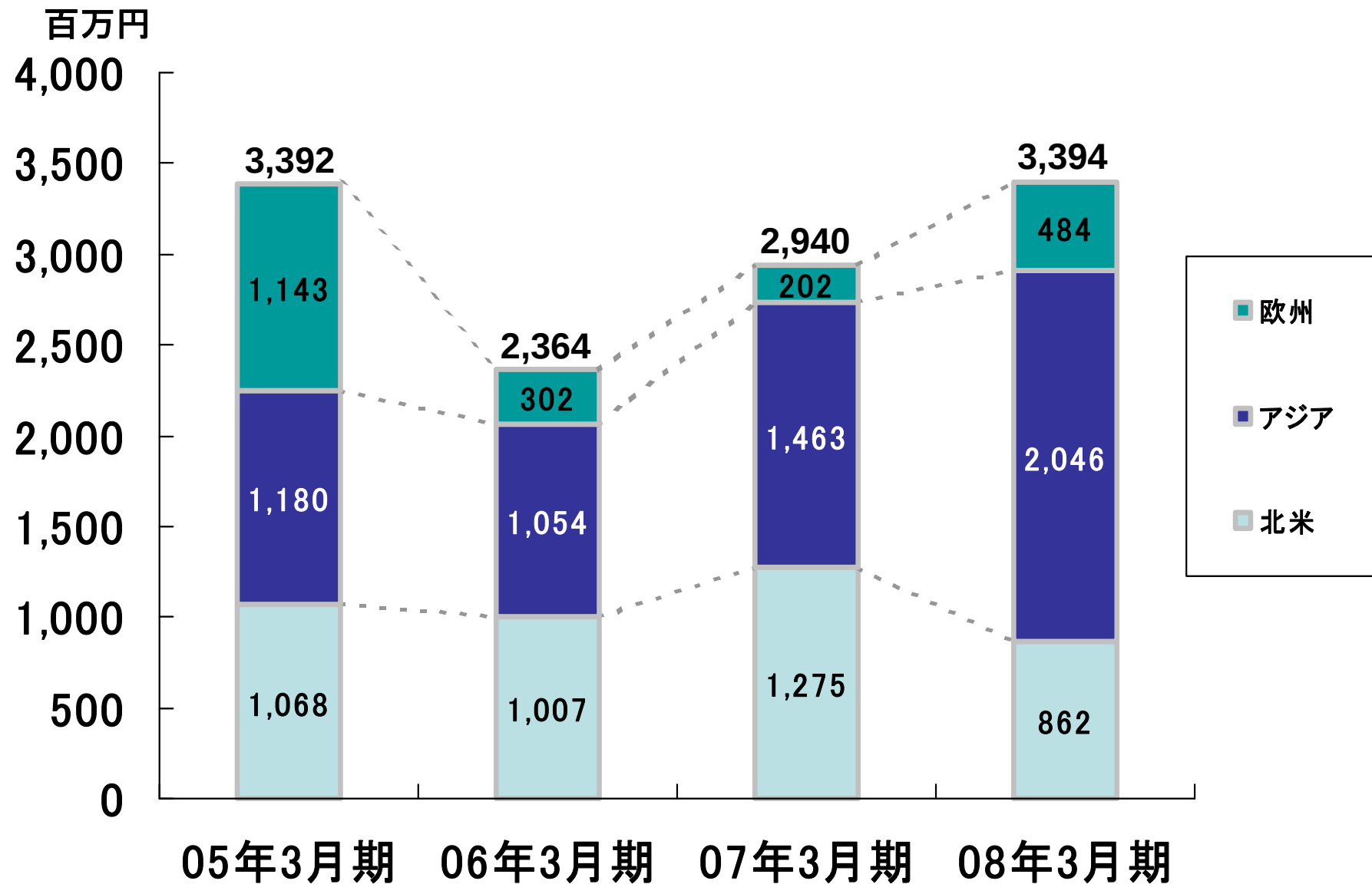
● 当期上期営業損失
8百万円

● 前年同期比
64百万円減

● 当期上期売上高
351百万円

● 前年同期比
178百万円増(103.5%)

連結 上期 海外売上高推移

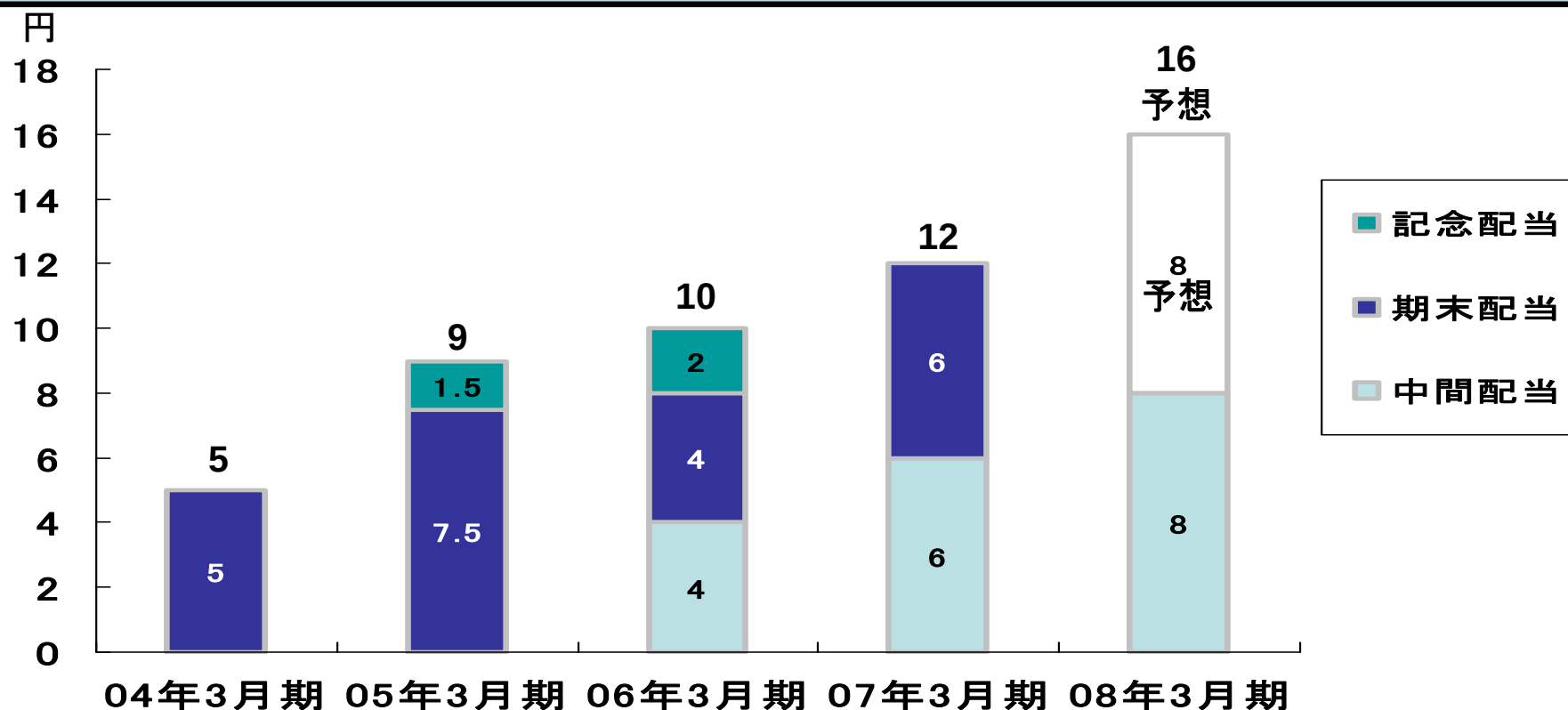


株主還元

中間配当: 1株につき8円(前年同期比2円増配)

●通期配当予想16円(前年同期比4円増配)

●通期連結配当性向予想24.0%(前年実績20.9%)



※07年3月期中間以前の配当金は株式分割後、調整済みの数値を記載しています。

株主還元

自己株式の取得結果

- 取得株式数 30万株
(発行済株式総数に対する割合1.10%)
- 取得総額 192,586,400円
- 取得期間 07年7月9日～07年9月14日
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

連結 通期見通し

(単位:百万円)

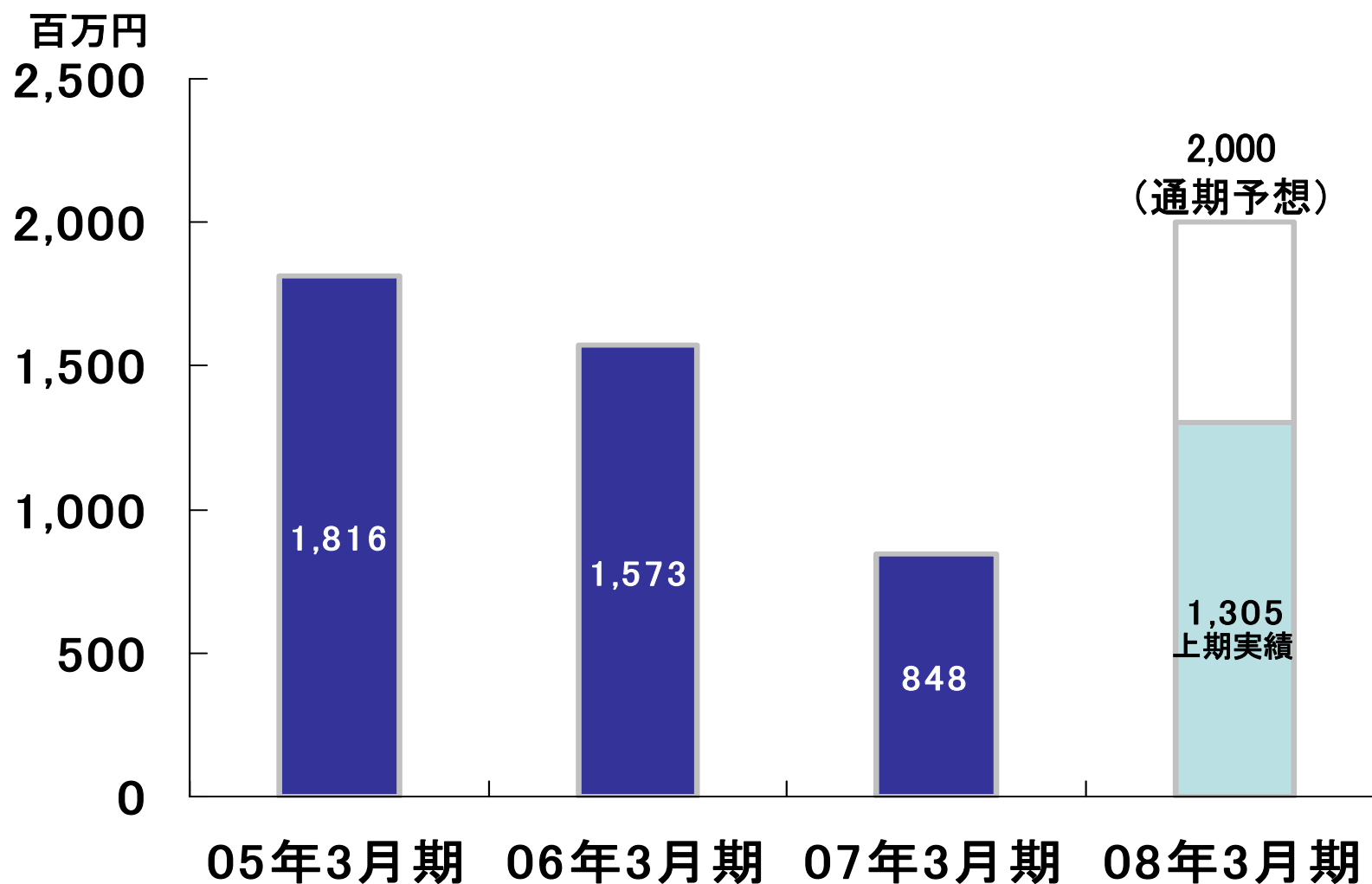
	当期予想 07年4月～08年3月	前期実績 06年4月～07年3月	増減	
売上高	29,500	27,498	2,002	7.3%
営業利益	2,900	2,346	554	23.6%
経常利益	3,000	2,491	509	20.4%
当期純利益	1,800	1,567	233	14.8%

連結 事業別売上高 通期見通し

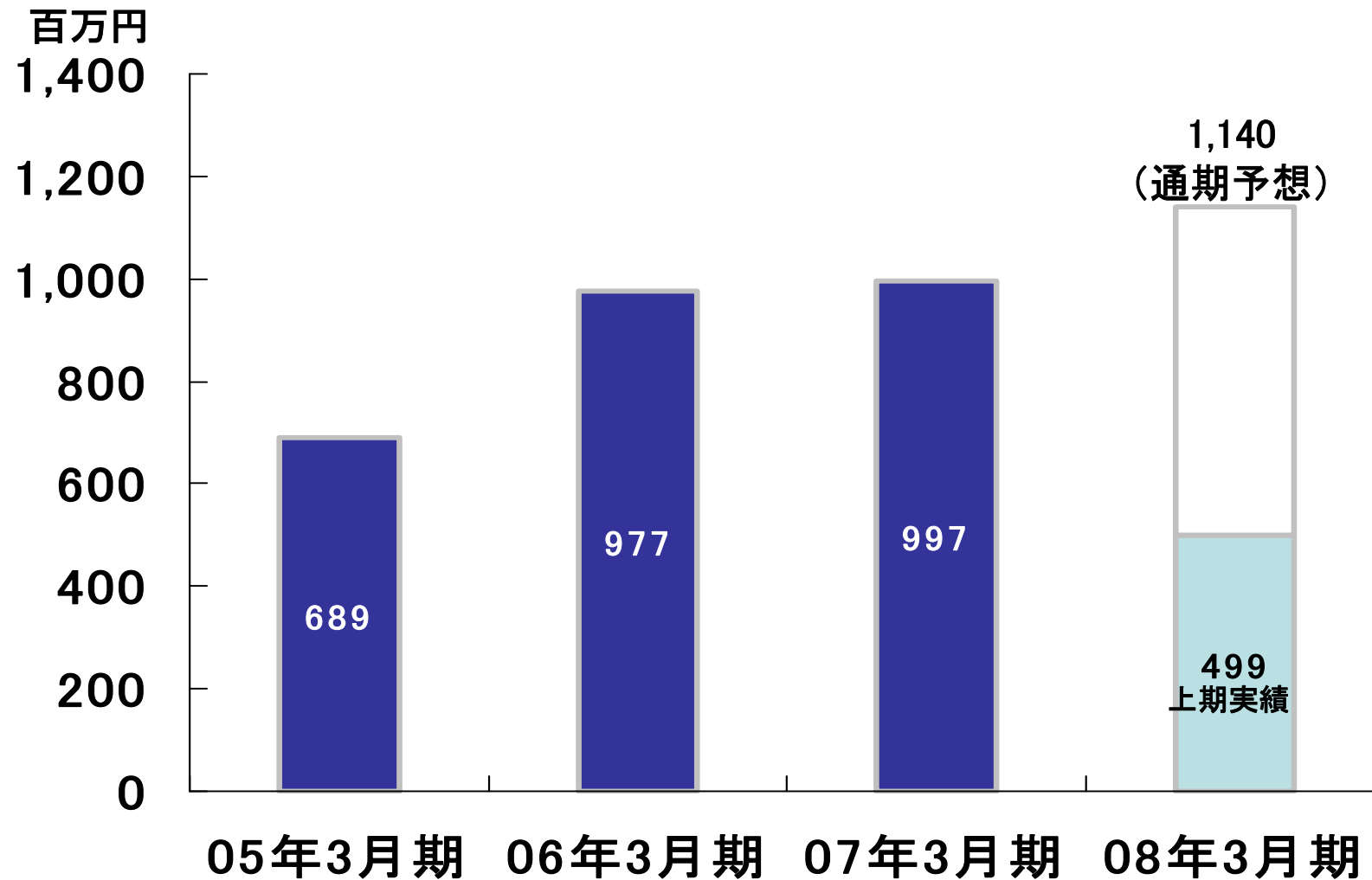
(単位:百万円)

	当期予想 07年4月～08年3月	前期実績 06年4月～07年3月	増減	
電子・工業材料	20,000	17,203	2,797	16.3%
グラフィックス	5,400	5,273	127	2.4%
産業メディア	3,100	3,634	▲534	▲14.7%
情報システム	1,000	1,387	▲387	▲27.9%

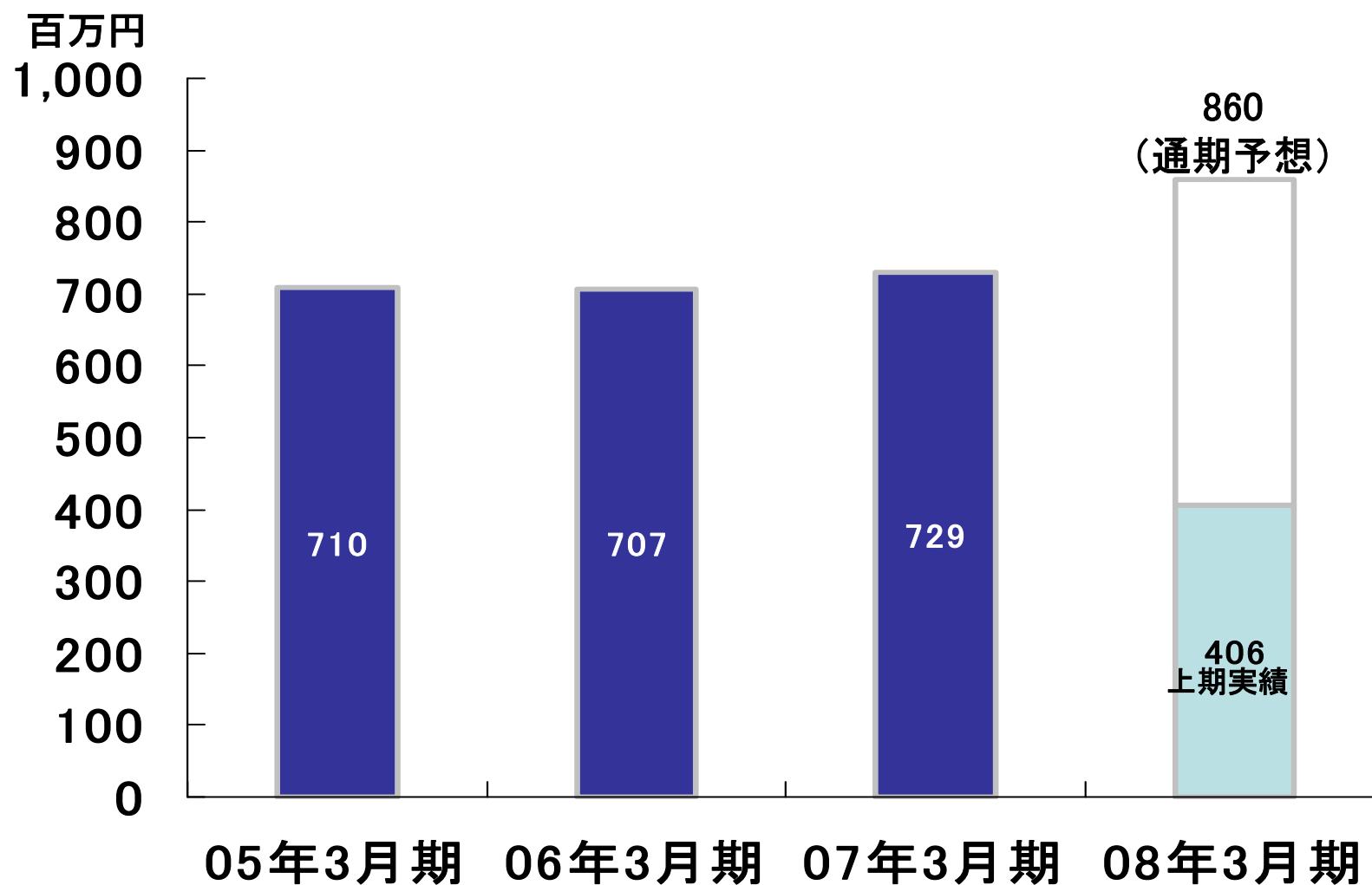
連結 設備投資



連結 減価償却費



連結 研究開発費



2008年3月期 下期営業計画

常務取締役 営業本部長
武田 詔一

2008年3月期事業部門別売上予想

単位: 百万円

	2007年 3月期実績	2008年 3月期予想	増減率
機能性フィルム事業部門	26,111	28,500	9.1%
電子・工業材料	17,203	20,000	16.3%
グラフィックス	5,273	5,400	2.4%
産業メディア	3,634	3,100	△14.7%
情報システム事業部門	1,387	1,000	△27.9%
合 計	27,498	29,500	7.3%

電子・工業材料事業

グローバル化の更なる推進

通期売上予想 200億円(上期実績 9,985百万円)

- * 液晶用フィルム

価格低下は避けられないが売上110%を見込む

- * ハードコートフィルム

タッチパネル用途の拡大で売上180%を見込む
アミューズメント(ゲーム)、カーナビが大きく伸長
携帯電話、産業用も期待

- * デジタルカメラ用光学フィルム

中国市場に注力し売上120%を見込む

電子・工業材料事業

- * 次期拡散フィルムの製品化(コスト対応品)
- * ハードコートフィルムの高機能化
- * 海外営業の強化
上海、ポーランドのサポート
国際部門の強化

グラフィックス事業

提案営業の推進

通期売上予想 54億円(上期実績 2,586百万円)

- * インクジェットビジネスへの集中

大型UVプリンタおよび多様な素材へ印刷可能な
中小型プリンタの拡販

- * CRMソフトの自社開発

CRMの活用で顧客満足度向上を目指すとともに
顧客ニーズの深堀

- * CRM : Customer Relationship Management

産業メディア事業

環境製品の販売と開発に注力

通期売上予想 31億円(上期実績 1,587百万円)

* 環境製品プロジェクト

地球温暖化対策への提案製品をスタートに
省エネ、エコ、安心安全対策製品等のラインアップ
を充実し、事業の柱とする。

情報システム事業

選択と集中による利益確保

通期売上予想 10億円(上期実績 293百万円)

- * 黒字化を目指す

 - 業務の改善と3M(ムリ、ムラ、ムダ)の排除

- * 新規ビジネスの立上げ(民需)

【業績予想等に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する計画・見通しに基づく予測であります。多様な不確定要因により実際の業績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。